



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月7日

上場会社名 株式会社ヴィア・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 7918 URL http://www.via-hd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 横川 紀夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 楠元 健一郎 (TEL) 03-5155-6801
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	6,471	△4.3	41	—	31	—	9	—
2019年3月期第1四半期	6,760	△6.4	△69	—	△80	—	△98	—

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 13百万円(—%) 2019年3月期第1四半期 △90百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	0.30	0.30
2019年3月期第1四半期	△3.14	—

(注) 2019年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	16,345	2,966	18.1	92.82
2019年3月期	16,530	2,946	17.8	92.23

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 2,963百万円 2019年3月期 2,943百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	0.00	0.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	13,300	△1.8	75	—	40	—	△80	—	△2.51
通期	26,500	△1.0	150	—	80	—	△180	—	△5.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	32,369,400株	2019年3月期	32,359,500株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	448,900株	2019年3月期	448,900株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	31,914,546株	2019年3月期1Q	31,259,835株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、「株式給付信託(BBT)」の信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が保有している当社株式を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資増加の下支えや堅調な雇用環境を受け比較的底堅く推移したものの、米中の貿易摩擦などの世界経済の不確実性を背景として、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、中食業界を含めた顧客獲得競争はますます激しさを増し、長引く人手不足による人件費の上昇に加え、物流費の上昇や天候不順などによる原材料費の高騰など、経営環境はより一層の厳しさを増しております。

このような状況のもと、当社グループでは、2017年5月12日に発表した中期経営計画『Change Management 2020～3-year plan for our growth～』を推進してまいりましたが、2年目となる2019年3月期の実績が目標数値から大きく乖離したことから、当計画を取り下げ2022年3月期までの3ヶ年を期間とする「新・中期経営計画2022」を策定いたしました。

既存店の再成長を基軸に、コスト削減を図り営業利益率の改善を図ることを基本方針として掲げております。

そして、これらを支える戦略方針である、①現場第一、②原点回帰、③人財育成について、それぞれの施策を着実に進めることで、既存店のブラッシュアップを図り、1店舗1店舗の収益力向上を目指し、業績回復及び経営の安定化に努めてまいります。

また、今後も各業態において既存店の客数拡大に重きをおき、QSCA（フードサービスの概念的価値を表す。Quality:クオリティ、Service:サービス、Cleanliness:クレンリネス、Atmosphere:アトモスフィアの頭文字）の継続的な向上施策を実施してまいります。

店舗数については、閉店が7店舗となり、当第1四半期末の店舗数は493店舗（うち、FC62店舗）となりました。

売上高については、居酒屋業界の競争環境の激化に加えて、働き方改革によるライフスタイルの変化で消費者ニーズが多様化したことや天候不順等が入客数減の要因となり、既存店売上高は前年同期比97.6%（客数97.2%、客単価100.4%）となりました。

売上原価については、メニューミックスによる粗利高の確保により、売上原価率は前年同四半期に比べて1.5ポイントの減少となりました。

販売費及び一般管理費については、物流費用の上昇等によるコストの増加があったものの、外部委託費や交通費等の経費見直し、店舗数の減少等による減価償却費の減少などにより、販管費率が前年同四半期に比べて0.2ポイントの減少となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当社グループの売上高は6,471百万円（前年同四半期比4.3%減）、営業利益は41百万円（前年同四半期は69百万円の赤字）、経常利益は31百万円（前年同四半期は80百万円の赤字）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9百万円（前年同四半期は98百万円の赤字）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結累計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ184百万円減少し、16,345百万円となりました。

これは、主に7店舗の閉店による有形固定資産及び敷金・保証金の減少等により固定資産が前連結会計年度末に比べ145百万円減少の12,323百万円となったためです。

負債の部は、主に買掛金が96百万円減少したこと及び賞与引当金が55百万円減少したこと等により、負債合計で前連結会計年度末に比べ204百万円減少の13,379百万円となりました。

純資産の部は、親会社株主に帰属する四半期純利益9百万円を計上したこと等により、純資産合計で前連結会計年度末に比べ19百万円増加の2,966百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.3ポイント増加の18.1%となり、普通株式に係る1株当たり純資産額は92円82銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において、2020年3月期の連結業績予想の売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益について、2019年5月15日付「決算短信」の公表数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,643	2,735
売掛金	737	622
原材料及び貯蔵品	190	182
その他	481	474
流動資産合計	4,053	4,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,354	5,263
機械装置及び運搬具（純額）	635	630
工具、器具及び備品（純額）	298	290
リース資産（純額）	330	302
土地	1,190	1,190
建設仮勘定	24	56
有形固定資産合計	7,834	7,733
無形固定資産		
のれん	1,036	1,008
リース資産	195	253
その他	145	185
無形固定資産合計	1,377	1,447
投資その他の資産		
投資有価証券	471	475
敷金及び保証金	2,708	2,600
繰延税金資産	17	14
その他	59	51
投資その他の資産合計	3,256	3,142
固定資産合計	12,469	12,323
繰延資産		
新株予約権発行費	7	6
繰延資産合計	7	6
資産合計	16,530	16,345

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,361	1,264
1年内返済予定の長期借入金	499	499
未払金	413	449
未払費用	745	847
未払法人税等	64	21
賞与引当金	130	74
リース債務	179	186
資産除去債務	164	105
店舗閉鎖損失引当金	120	101
株主優待引当金	112	79
その他	508	500
流動負債合計	4,299	4,131
固定負債		
長期借入金	7,501	7,476
リース債務	404	421
資産除去債務	1,000	990
繰延税金負債	56	52
その他	320	305
固定負債合計	9,284	9,247
負債合計	13,583	13,379
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,931	4,935
資本剰余金	1,225	1,229
利益剰余金	△2,733	△2,724
自己株式	△501	△501
株主資本合計	2,921	2,938
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	24
その他の包括利益累計額合計	21	24
新株予約権	3	3
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,946	2,966
負債純資産合計	16,530	16,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)
売上高	6,760	6,471
売上原価	2,205	2,013
売上総利益	4,554	4,457
販売費及び一般管理費	4,624	4,415
営業利益又は営業損失(△)	△69	41
営業外収益		
受取利息及び配当金	3	3
受取賃貸料	18	16
その他	4	4
営業外収益合計	26	24
営業外費用		
支払利息	24	22
借入契約に伴う費用	9	8
その他	3	3
営業外費用合計	37	35
経常利益又は経常損失(△)	△80	31
特別利益		
固定資産売却益	—	13
受取補償金	15	1
店舗閉鎖損失引当金戻入額	9	0
特別利益合計	24	16
特別損失		
減損損失	28	2
固定資産除却損	6	18
その他	1	0
特別損失合計	36	21
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△92	25
法人税、住民税及び事業税	30	18
法人税等調整額	△25	△2
法人税等合計	5	16
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△98	9
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△98	9

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△98	9
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	3
その他の包括利益合計	8	3
四半期包括利益	△90	13
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90	13
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは「外食サービス事業」の単一セグメントであり、開示情報としての重要性が乏しいと考えられることから、記載を省略しております。